



1年を終えて～学年主任より

期待と不安の中での入学から1年が経過しようとしています。中学からの6ヶ年で考えるとHOP・STEPの助走ー踏み込み・力の蓄積を経て、いよいよ大きくJUMPへと踏み切るタイミングの時期になりました。この1年間を振り返るとともに、今一度2年後を見据えて各自の目標を達成すべく、準備を進めましょう。

さて、毎回学年通信では学習・進路についての情報が盛りだくさんの内容となっています。いろいろな情報を取り込み整理して、今何をすべきか将来へ向けどう進むべきか、自らよく考え判断し、実践していきましょう。

彼の淇(河の名)の奥をみれば	ていねいに磨くことを『切磋琢磨』といいます。
緑の竹の猗猗とうるわし	「切」は骨をみがくこと
有にも匪けき君子は	「磋」は象牙をみがくこと
切するが如く磋するが如く	「琢」は玉をみがくこと
琢するが如く磨するが如し	「磨」は石をみがくこと

《論語》に関連して《衛風》より

学年主任 三輪剛史

定期試験・模擬試験を終えて

1年間の試験が終わりました。特に5組～7組の生徒は、中学校のころの成績との違いや、範囲の多さ、取り組まなければいけないことの多さに戸惑った生徒が多かったかもしれませんが、「これが高校の学習です」と言いたいところですが、厄介なことに2年生、3年生と学年が進むにつれ範囲やレベルが加速度的にあがり、受験時に振り返ると1年生のころの問題がとても簡単に見えるものなのです。さらに、君たちが行きたいと思っているような大学では、また難易度や要求されることが変わり、しかも得点を重ねることが求められます。

成功への秘訣は、何度も書いてきたことですが、次の順番です。

- 1 目標を決めること。その目標を「絶対達成する」と思うこと。
- 2 現在の自分の実力との違いを知り、課題を具体的に挙げること。
- 3 目標を達成するまでの期間を知ること。
- 4 逆算して、今、自分がやるべきことを決めること。
- 5 自分のやったことをチェックし、成果と比べて方法を確認、変更すること。

これが目標達成シートで、要求しているPDCAサイクルです。1年を振り返るに当たり、この順番をもう一度意識してください。

失敗する人は、おおよそ次のような思考法になっているはずです。

- 1 目標はなんとなくであり、自分から遠いと思っている。また、「そこでなくてもいい」「絶対そこというわけではない」という逃げ道をつくる。
- 2 自分の現在の実力と状況から、とてあえずやるものを決める。たとえば、宿題であったり、たとえば、友達がいいと言った参考書であったり、たとえば、とてあえず塾に行くといったことであったり。必ずしもやっていないわけではなく、目の前にあるものを、今の自分に合わせて取り組む。
- 3 目標までの地図がないので、(そもそも目標もはっきりきまっていないので、入試問題も見ず、合格最低点も知らない) 毎回、模擬試験の結果は「悪い」というだけで、近づいているのか、このペースでいいのかなどが分からない。
- 4 結果として自分の課題も分からない。課題をあげろという問に対して、「悪い」「全部」「してないので」「とにかくやること」などという答えになる。これが逆に言う「やればできる」という変な自信につながっている。

つまり、一番重要なことは、「目標を決め、絶対に達成する」ということです。もちろん、今、決めたら変えてはいけないということではありません。国立か私立か悩んでいるとするなら、両方可能性がある以上、両方目標を決めればいいだけのことで、学部を変更しても、対策の変更を少々すればいいだけの話で、骨格が崩れるわけではありません。次の授業開始は4月13日です。意識がないと、1ヶ月ものらりくらりと過ごすこととなります。まず目標達成シートをしっかりと書くことから始めましょう。

模擬試験講評 概況報告

学研ハイレベル模試、河合塾全統記述模試、第3回駿台全国模試、駿台マーク模試と、1月以降、最大4回の模試を受験しました。国語や英語では、「初めて読む問題を一定時間で解き終える」という入試の特性に、数学では「難しい問題を考え部分点を積み重ねる」という入試の特性に触れることができたのではないのでしょうか。

全員受験の河合記述模試は、非常にハイレベルな出題でした。しかし、その傾向が多くの生徒が志望する大学の傾向なので、よい経験になったと思います。3教科とも比較的よくできていて、ほとどの科目も過去最高の成績、もしくはほぼ同等の成績であり、過去との比較においては、非常によい成績であると言えます。

しかしながら、大きな問題は、目標としていた偏差値65以上は、英数国で27名、英語30名、数学26名、国語63名と少ないことです。過去との比較においていくらよかったとしても、問題は、多くの生徒があげる「早慶」の合格を考えた場合、この目標にちかづいた生徒がどれだけいるかが重要なのです。もちろん、少しずつ近づいていけばいいのですが、この65という数字も決して「じゅうぶん」という数字ではなく、「最低限」であることを考えると、面接で聞いていた君たちの目標とはやや離れている気がしてなりません。

もうひとつ気がかりな点は、英語の偏差が第二回(8月)、第三回(10月)、今回と徐々に落ちていることです。過去との比較においては今回でも最高レベルではありますが、アドバンテージを失ってきていることに変わりはありません。もし、1回目、2回目の模試を通じて「英語は得意科目だから大丈夫だ」という慢心があるのだとしたら、とんでもないことです。君たちの目標のためには、偏差65以上が必要であり、それを越えている生徒が半分いる学校ではないからです。基本文法、構文の確認、単語、熟語の詰め、超長文の読解問題演習、英作文、自由英作文対策など、英語の勉強はやるのが山積みです。まず英語でアドバンテージをとることが重要なのです。春休みに、自分の苦手分野とその対策をすすめてください。

駿台模試(希望者)は、今回に関しては、問題レベルは河合より易しく感じました。これは、むしろ河合が「記述模試」として意図的に難度を上げているためで、駿台模試自体のレベルは変わっていません。平均点が河合より高いとはいえ、受験層は河合より高いので、本校の偏差値は河合より下がることとなります。駿台では、英語よりもむしろ、数学、国語が

低めの結果となりました。これは、河合の平均点が低い試験の中では、基本的な問題を確実に取り、他校に比べて加点することができたけれど、記述力の部分まで普通の生徒が解く問題になったときに、他校に比べて対応できないということでしょう。こうしてみると、国語の記述力、すなわち要約の訓練や、問題演習が圧倒的に不足していることが予想されます。実際、問題集を家庭学習に入れている生徒は皆無であるように感じます。数学も解法のパターン暗記レベルまではこなしたとしても、じっくりと問題演習を積み重ねている生徒が少ないということなのでしょう。両科目とも「問題演習不足」という課題が見えています。

学研模試については受験者が多くないので、全体傾向の分析はしていません。ただ、この模試は全国の有力校が受験し、また、成績資料も非常によくできていて、早慶の難関大、東工、一橋、京大、東大などの受験者には、非常に対策の立てやすい模試ですので、2年次夏のハイレベル模試には多くの生徒が受験することを期待します。



4 月 実力試験について

今回の試験は、国数英はベネッセのスタディ・サポート、理社は本校作成の実力試験として行います。春休みは1年生の総復習をする時期ですので、学習の成果を計ってください。なお、課題や学習法については、前号でお知らせしていますので、このふたつを参考に、配布された目標達成シートを記入して学習に取り掛かってください。

理系(物理・化学)	国数英	現代社会	物理	化学	計6科目
理系(生物・化学)	国数英	現代社会	化学		計5科目
文系	国数英	現代社会	世界史		計5科目

スタディ・サポート 国数英ともに80分

スタディ・サポートは、普通の模試と違い、さまざまな基本的な知識をひとつずつ聞いてきます。ですから、下記の範囲の事項が必ず全て聞かれます。やり残しがないように準備をしましょう。

スタディ・チャージをこなした時に、**スタディ・チャージの基本問題(文法や単語や知識)が、問題は違うけれど、必ず同じジャンルで聞かれる**というイメージです。もちろん、読解などを含めて問題量や形式は若干異なりますが、**知識を問う分野・ジャンルが示されていると理解して、そのジャンルを必ず参考書や単語集、一覧表などでチェックするのが有効**です。Sランク、80%以上の得点率を目指して復習してください。

国語 現代文 評論・小説の読解、現代文知識＝現代文キーワードをざっと見ておくとよいでしょう。言葉の意味や対義語など。

古文 読解、文法＝特に助動詞(意味、接続、活用)、動詞、形容詞などを中心に。敬語もプリントを見るとよいでしょう。(プリント、ノートをなくした中入、および高入は、本学年のホームページに敬語学習の基本のプリント、動詞、助動詞の学習プリントがあります。)、古文単語＝222をざっとながめるだけでも

全然違いますが、できれば覚えましょう。

漢文 読解、句形＝必ず一覽レベルでいいので確認しましょう。(否定形(部分否定、全否定、二重否定)、疑問、反語(漢字の読みを覚えましょう)使役、受身、比況など)、再読文字、「和漢異義語、呼称、漢字の読み」＝明説漢文の後ろの方にそれぞれ項目で1ページから2ページにまとまっているのでながめるだけでもだいふ違うと思います。

読解 現古漢とも問題集を買うことが重要です。スタディ・サポートのためでなく、国語の中心は演習ですので、必ず手元に問題集を置きましょう。やり終わったら新しい問題集を手元に置き、週に最低でも1題解いていくとおどろくほど力がつきます。

英語 基本：語彙、文法(文型、動詞の時制、関係代名詞、関係副詞、比較、代名詞)
英単語は、単語だけでなく語法を意識して復習するとよいでしょう。構文集、問題集などで範囲をひとつおとり復習しましょう。出題のイメージはスタディ・チャージを練習することが大事です。前回書いたとおり、スタディ・サポートの学習とともに、英作文マラソン、英単語、英熟語を早めに完成させるようがんばってください。

応用：文構成、読解 国語同様、読解問題演習は週に最低1題を目安に取り組む必要があります。問題集が常に手元にある状態を作りましょう。前回の通り、春休みは特に入試問題にチャレンジするのがよいでしょう。

数学 公式利用：数学ⅠA全範囲

応用力：2次関数、図形と計量、場合の数・確率、平面図形

総合力：2次関数中心の融合問題

宿題を中心に余力のある人は問題演習をしっかり進めると同時に、スタディ・チャージをやりながら、あやふやな分野はしっかり復習することをおすすめします。1年の穴をスタディ・サポートで見つけるのではなく、スタディ・チャージで見つけ、春休み課題や教科書レベルでの分野別復習をして、スタディ・サポートで課題を修正してください。

実力試験 各科目50分

理科・社会 時間割はスタディ・サポートと組み合わせて実施します。試験範囲はどの科目も、特に教科担当の先生方から連絡がなかった限りは、1年の既習範囲全ととなります。基本的に入試で使う可能性のある科目のみの受験となりますので、指定された科目は入試で使う可能性が高いと自覚してざっと復習しておきましょう。

物理 物理・化学選択者のみ 1年の範囲はセンター試験の範囲となるので、国立志望者は必ず満点をとらなければいけない分野です。

化学 理系選択者全員 化学重要問題集のA問題レベルを出題します。1年範囲はセンター試験の範囲ですので、国立志望者は必ず試験で満点を狙う必要があります。重要問題集を持っている人はしっかり解いておくと、類題を出します。

世界史 文系のみ 1年次の範囲は、近現代が中心です。私立の経済学部、商学部などでは、難関を中心に、範囲が近現代に限られる場合や、近現代が重くなる傾向にあり、1年時の復習が大切です。現段階では、世界史か日本史かわかりませんが、近現代の学習をしておくことと日本史やセンターで使う倫理・政経の準備にもなりますのでしっかり学習しましょう。

現代社会 理系・文系全員 センターの倫理・政経、現代社会は、理系、文系ともに選択する確率の高い科目です。小論文などの受験者にも必要な内容です。授業ノートを中心に理解できていない語句やテーマをしっかりと覚えるとよいでしょう。センター試験を意識してください。



今後の予定

4月8日（木）始業式 午前放課 午後運動部心電図
登校時に、昇降口で新クラスを確認し、新クラスに集合、座席表にしたがって着席すること。その際、下駄箱を変更するので、靴を靴袋（持参すること）に入れて教室に持っていくこと。

持ち物：靴袋、通知表、目標達成シート、保護者アンケート（封筒に入れて新担任へ）

※9日から午後まであります。13日のみ午前放課です。

4月9日（金）実力テスト 世界史・化学 スポーツテスト、身体計測

4月10日（土）保護者会 13：15～ 全体会 ※授業なし

4月12日（月）スタディ・サポート 国数 実力試験 物理

4月13日（火）スタディ・サポート 英 実力試験 現社（午前放課：クラブ紹介）

4月14日（水）平常授業開始

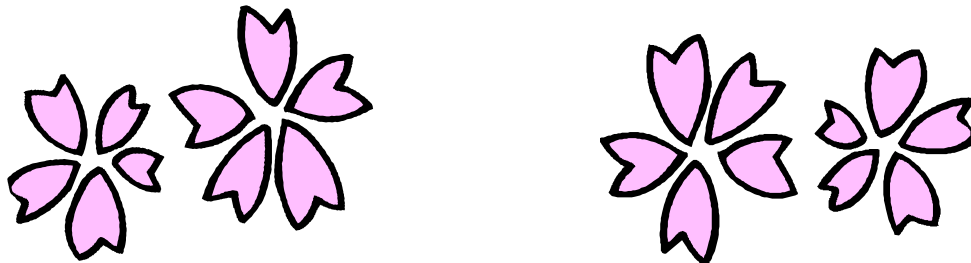
※1時間目の授業には予習をしてのぞみましょう。最初が肝心です！

4月17日（土）授業なし

4月24日（土）授業なし

あっという間に、1年が過ぎ去りました。この学年通信も、12号となりました。いろいろなうさぎことを書いてきましたが、どれだけ頭の中に入っているでしょうか。忘れてしまうのは、決していけないことではありません。人間はそういう風にできているのです。だからこそ、体に沁み込むまで反復することが大切です。以下の学年目標や夢実現のための十則を言えるでしょうか。できるならば、配られた時に何が書かれているかをその度に読んでみてください。そうして、なんとなくキーワードが頭に残るだけでもじゅうぶんです。あとは、そのキーワードがオリンピックなどのスポーツや時事的な話題、学習法などの話にひっかかってくれればしめたものです。ひっかかれば、行動が始まります。最初は三日坊主で構いません。そのたびに三日坊主を何度も繰り返せば、何日もやったことになり、それはいつかルーティン＝習慣になるのですから。

1年が過ぎ、4月は新しいクラス、新しい先生を迎えます。もちろん、担任の先生の多くは来年も担当しますが、副担任の先生や授業の担当の先生は、来年度以降持ってもらわない方も多くいらっしゃいます。「最後」と聞くと急に惜しくなるのが人の常ですが、その時にいただいた感謝の気持ち、惜しいと思う気持ちを、来年の授業に生かしてもらえればと思います。お世話になった先生方に、みなさんに代わって、ありがとうございました。そして、この学年を離れる先生方に代わって、1年間、みなさん、ありがとうございました。



未知の世界を切り開き、社会に貢献する、自立した「人財」へ

目標とする人間像

「気づき」のある人間 「聞く姿勢」を持つ人間 「学び続ける」人間

身につけるべき力

目標から「逆算」する力 やるべきことを「具現化」する力
他者を「理解」し、「理解される」力

夢実現のための十則

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気付き、人に気付いてもらえる。
- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくなる。助けたくなる。
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。
- 成功を繰返し、失敗を繰返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。